

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月6日(火)

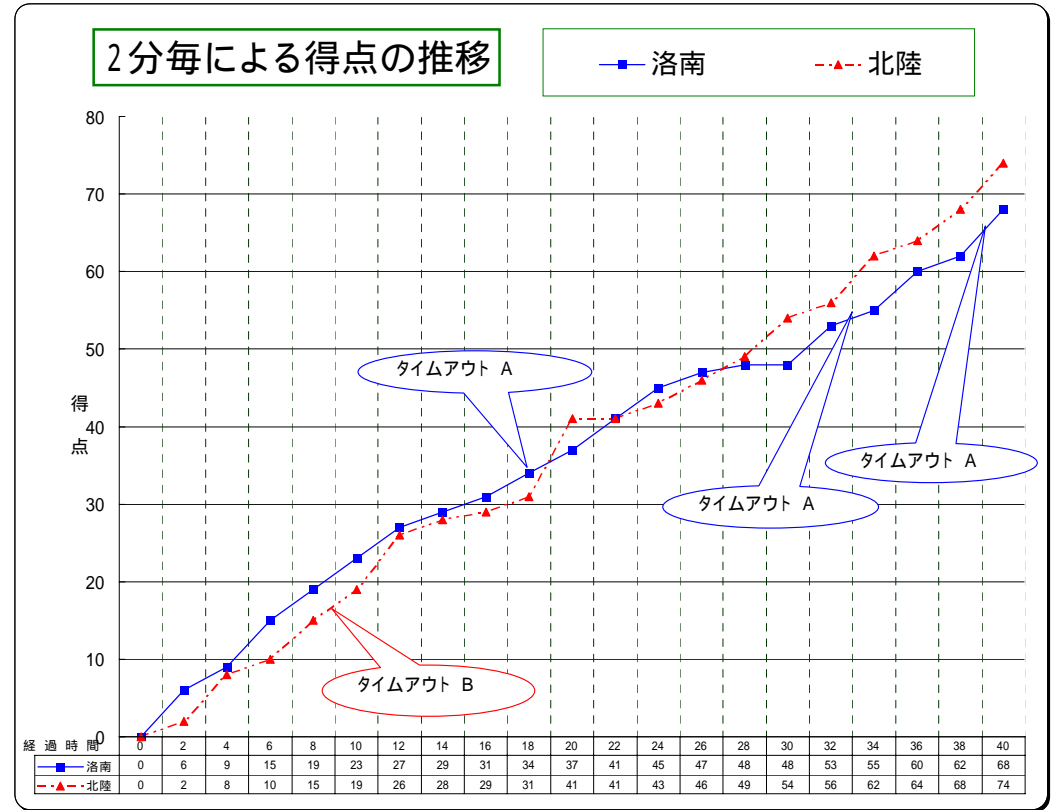
会場 日立市市民運動公園中央体育館

【男子の部】 第5日目 準決勝 Aコート 第3試合

チームA		23 1Q 19		チームB
洛南	68	{ 14 2Q 22 }	74	北陸
		{ 11 3Q 13 }		
		{ 20 4Q 20 }		
		{ OT }		
京都				福井

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	原田 有人	0	0	2	0	2	0	0	3	0	1	3	0	1	0	27
5	名本 公平	15	0	5	7	14	1	3	4	0	0	0	0	3	0	28
6	竹内 公輔	15	0	0	5	12	5	5	1	4	13	3	2	4	4	40
7	竹内 譲次	14	0	0	5	10	4	7	1	5	5	2	0	1	5	40
8	日櫻 直人															DNP
9	横尾 達泰	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
10	西垣 仁貴	5	1	2	1	1	0	0	1	1	0	3	0	0	0	7
11	深尾 晃生	17	1	8	7	14	0	0	1	1	1	1	1	2	1	40
12	木村 励	2	0	1	1	4	0	2	3	1	2	2	0	2	0	15
13	木村 勇太															DNP
14	木村 壮志															DNP
15	岡田 健佑															DNP
コーチ	吉田 裕司								0							
		68	2	19	26	57	10	17	15	12	22	14	3	13	10	200
		確率	10.5%	45.6%	58.8%				計	34						

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	石崎 巧	33	1	4	13	19	4	5	2	1	4	3	1	3	0	38
5	網野 奈	4	0	0	1	2	2	2	0	1	3	1	3	2	1	38
6	小柳 龍一	17	3	9	4	7	0	0	2	1	2	0	1	2	1	35
7	中山 賢吉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
8	金野 力															DNP
9	王 昱晨	3	0	0	1	4	1	2	4	5	0	2	0	0	0	24
10	陳 金全	4	0	0	2	9	0	0	1	0	4	3	0	0	3	16
11	加藤 亮平	4	0	3	2	8	0	0	4	1	3	0	0	0	1	29
12	長田 陽佑	9	1	8	2	2	2	2	1	0	2	0	2	0	0	15
13	築館 潤															DNP
14	山本エドワード															DNP
15	西村 文男															DNP
コーチ	津田 洋道								0							
		74	5	24	25	51	9	11	14	9	19	10	7	7	6	200
		確率	20.8%	49.0%	81.8%				計	28						



戦評
シード校大濑を4回戦で破り、波に乗る北陸の勢いは止まらない。第4Pまでもつれこむ緊迫した試合となった。
第1P、2mセンター同士のブロックショットなどの豪快なプレーが飛び出し、観客は一瞬にしてひきつけられる。開始5分、洛南のアグレッシブなベースに追いつけず、早くもファウルがこんでしまった北陸であったが、北陸#4石崎の巧みなドライブインにより19-23洛南リードで終了。
第2P、洛南スティールから得点。一時は嫌な雰囲気が北陸に漂ったが、またも#4石崎の冷静なボールコントロールによりドライブイン、3Pで加点する。インサイドへの執拗なまでの北陸のダブルチームに思うようにプレーができない洛南は攻撃のリズムがつかめず、北陸が逆転に成功。41-37北陸リードで前半を折り返す。
第3P、北陸#11加藤#12長田の180cm台センター2人が洛南#7竹内をマークするが、洛南はその mismatchを使うことができない。得意のハイロープレーを抑え込まれ、アウトサイドから打たざるを得ず、オフenseリバウンドも保持できない。その悪循環を断ち切れないまま第4Pに。洛南#11深尾が苦しい所で3Pを決めるが、北陸センター陣のボックスアウトの頑張り、#4石崎の勝負強さの前に、洛南は悔しい敗退となった。
北陸は、昭和63年以来の決勝進出。

主審 阿部 哲也 副審 関口 知之 記入者 長谷川 智子